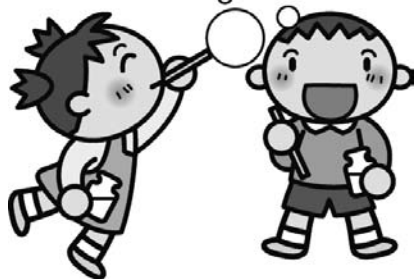


教 育 広 報

いわみざわ市の教育

…特集…

地域児童の安全・安心 ～児童見守りシステムを活用した取り組み～



『土曜ふるさと学校』

地域で様々な活動をしている市民の皆さんが講師となって、子どもたちと一緒に活動することでその取り組みを伝え、交流し、授業で教わらない、いろいろなことを学ぶことを目的として開催されています。

これからも多くの方のご参加をお待ちしています。

<特集>

地域児童の安全・安心!!

児童見守りシステムを活用した取り組み



『ちゃんと学校についたかな?』
『もう学校を出たのだろうか?』
近年、全国的にも児童が犯罪に巻き込まれる悲惨な事件・事故が多発しています。

岩見沢市では、児童の登下校時の安全確保を目的とした「児童見守りシステム」を平成19年度から導入し、実際の家庭・学校現場での活用を進めています。

◆ICタグサービス◆

具体的な取り組み内容としては、市内小学校の1学年と2学年を対象として、希望者に「ICタグ」という次の写真のような小型の端末機を配布しま

写真



(ICタグ)

それをランドセルなどの児童が学校に持っていくカバンに取り付けておき、児童が学校の玄関を通ったときに、そこに設置してあるセンサーが感知し、あらかじめ登録してある保護者のメールアドレスに下校の情報をメールします。また、そのメールに記載されている専用アドレスにアクセスすることで、その時の画像を閲覧することも可能です。

これにより、保護者は子どもが「いつ登校し、いつ下校したか」をリアルタイムで知ることができ、安心感を高めることができることも、登下校時に万が一、何かがあった場合にも、素早い対応がとれるようになります。

◆個人情報の保護◆

このシステムでは、電子メールで下校の情報をお知らせするため、メールアドレスの登録が必要となること、またセンサー感知時に児童の静止画を

児童見守りシステムイメージ

児童登下校
(学校玄関通過)



ICタグ



専用ネットワーク

画像
通過
撮影
通知

児童見守り
システム
センター

登録情報は
全て暗号化

登下校通知



画像閲覧



SSL通信

保護者
(携帯電話・パソコン)



撮影することから、個人情報の保護が必要となります。

そのため、次のような対策を行い、安心して利用できるように努めています。

① 学校側からシステムのセンターへのデータ送信は、岩見沢市の児童見守り専用ネットワークを使用しているため、外部から侵入されることがない。

② システムに登録されている全ての情報（児童の登下校情報や画像、保護者のメールアドレスやその他の情報）が暗号化されて管理される。

③ 画像閲覧時にインターネットでの通信が必要となるが、SSL通信という、ユーザーIDとパスワードを発行された登録保護者以外が、このシステムに接続できないような仕組みとなっている。

また万が一、ICタグを紛失してしまった場合も、ICタグそのものにはID番号のみが記録されているため、それによって個人情報漏えいすることはありません。

◆対象者・施設の拡充◆

現在このシステムは小学校の1学年と2学年を対象としており、平成20年度、21年度にはその半数以上が利用しています。

そして、平成22年度からは、その対象範囲が拡大され、小学校3学年も対象として実施されます。

また、市内の全児童館でもこのシステムが導入されることとなり、放課後の児童館への入館情報も配信されるようになります。（ただし、退館情報及び画像の配信はありません。）

◆安全・安心を目指して◆

もちろん、このシステムを利用すれば児童の安全を十分確保できるということではありません。

家庭や学校、そして地域の皆さんが協働で、今まで通り児童を見守っていくということが大切です。

その手段のひとつとして、このシステムが有効に活用され、そして安全・安心・快適な地域コミュニティを形成するため、皆さんのご協力をお願いいたします。



【問い合わせ先】

児童見守りシステムサポート窓口
電話 22-5905

平成22年
4月1日より

メープル小学校が 小規模特認校となります

○小規模特認校って？

『小規模特認校』という言葉聞いたことがある方は少ないのではないのでしょうか。これは、自然に恵まれた小規模校で本来の通学区域以外から、児童が入学することができるとのことです。

自然にふれあつ中で豊かな人間性を培い、明るく伸び伸びとした特色ある学校に通いたいと希望する場合に入学することが認められます。

○入学のための条件はあるの？

通学区域以外から入学するためには次の条件があります。

① 保護者は学校活動やPTA活動を十分に理解して、その活動に積極的に協力していただきます。

② 児童の心と身体が通学に耐えられる状況でなければなりません。

③ 通学時の安全確保については保護者の責任で行っていただきます。また、その費用についても保護者負担となります。

○学校に通う期間は？

入学後は、卒業までメープル小学校に通うことを基本とします。

○何人まで入学できるの？

特認入学の募集人数は、メープル小学校の実態に応じて決定いたします。万が一、募集人数を超えた場合は、公開による抽選で決定いたします。

【小規模特認校についての問い合わせ先】

市教育委員会 学校教育課 学校教育係

電話 0126・23・4111（内線384）

☆教育委員会ホームページにも詳しく掲載されています。興味のある方は是非、ご覧になってみてください。（URLは本誌表紙に掲載）



育活動 ・学校自慢



心の通う交流を通じて

北真小学校



本校では、縦割りによる活動を通じて子ども同士の『共創』を図る活動を行っています。今年度は、全校の取り組みとして、春と秋に行

った学校周辺清掃や毎週木曜日に行う清掃。児童会活動においては、休み時間を利用して代表委員会主催のミニオリンピックや体育委員会主催の雪中オリンピック。低学年から高学年までが仕事や遊びを通じて、人との関わりを体験しているところです。

子ども達の数

年々減少していく中、人と人の関わりを大切にすると共に、今後より発展させた取り組みも考えて行かなくてはならないと思っています。

今後は、地域との交流や活動を通じた連携も期待されているところです。



一人ひとりが主人公

メーフル小学校



(全校給食の様子)

本校は、全校児童17名の複式の学校です。小規模校の少ない人数でしか体験できない活動がたくさんあります。毎日の給食や清掃活動も全校児童の縦割り班で行っています。各班が上級生のリーダーのもと、分担された仕事を行っています。

そこでは、上級生が下級生の面倒を見る態度が自然に養われ、一人ひとりの役割がとても重要になってきます。

効率よく活動を行うため、低学年はできる仕事にどんどんチャレンジしています。高学年は、全体を見渡し、場に応じた指示を行っています。

これらの毎日の活動で培った力が、集会活動や学校行事に活かされています。メーフル小学校では、いつも一人ひとりが主人公なのです。



(清掃活動の様子)

特色ある教



市内26の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

同窓会との連携



(会食の様子)

本校では同窓会と連携した教育活動が充実しています。
7月は生徒会行事として、同窓会の方々と地域清掃を行いました。縦割り班に同窓会の方々と交え、共に額に汗して町をきれいにするこの活動は、先輩から後輩へと受け継がれている行事です。
12月は地域交流学习として、会長さんに昭和初期の美流渡地区の様子や昔の暮らしについて写真を通してお話していただき、昼食では同窓会の方々が調理した当時の代用食を会食しながら交流を深めることができました。



(地域清掃の様子)

美流渡中学校

確かな学力と

豊かな心を目指して

緑陵高等学校



(学校祭仮装アピール)

生徒一人一人が本校生であることに誇りをもち、自らの夢を確かな現実としてその手につかめるよう、生徒・保護者・教員が一体となって取り組んでいます。

本校は「明目・日新・信愛」の校訓のもと、社会の一翼を担える、人材の育成を目指しています。
確かな学力を育む教育活動を実践し、多様な進路希望（大学短大・専門学校・高等看護・公務員・民間就職）を実現させています。特に進学面で2年連続北海道大学をはじめ国公立大学等の合格者が10名を超えています。また情報コミュニケーション科を中心に資格検定合格者も大幅に増加しています。
さらに、豊かな感性や心を育む教育を推進し、生徒が主体となつて生徒会活動や部活動に力を入れています。



(対面式)



市P連の活動

11月27日(金)に本年度の市P連教育懇談会を開催しました。

本会は市P連の中でも教育環境委員会が担当し、今年度は「もつと特色ある教育環境へ」みんなに知ってもらいたい！私の学校自慢」の合い言葉のもと、「ミニミニFMはまなす」の番組の中で学校紹介のコーナーを設けていただき、各学校の様々な取り組みや行事などを「少しでも多くの市民にその活動を知ってもらおう」として、自分達自身も番組に携わり出演する事で、改めて学校を見つめ直す機会にしよう！」という事業を考えました。

懇談会の当日は、それまでラジオ出演した学校では、各校の代表が実際の放送を流しながら更なる学校自慢を展開し、また、これから出演予定の学校は、番組の予告編として、思い思いの抱負などを語ってもらい交流しました。

教育懇談会の後半では、本事業の主旨をベースに、FMはまなすパーソナリティの藤澤枝里子氏にコーディネーターをお願いし、岩見沢市教育委員会教育長堀敏一氏・本会副会長佐藤陽子により『もつと特色のある教育環境へ』のテーマのもと座談会を行いました。



(教育懇談会・座談会)

座談会を通じ、まず大人自身が、その背中を子ども達に見られているのだという自覚をしつかり持つて、きちんとした生き方を見せて行く事が大事なのだとあらためて感じました。

限られた時間の中ではありましたが、たいへん有意義な時間であり、各校の活動や取り組みが交流されたことで、子ども達が健やかに成長するための教育環境づくりに向けた、今後の各学校及びPTA活動充実へ意欲を喚起する契機になったのではないかと思います。

今年度の主な行事報告

※5月*

市P連総会

※7月*

道P4ブロック広報研修会

市P連研究大会

※10月*

全道P連研究大会(釧路)

南空P連母親研究大会(美唄)

※11月*

市P連教育懇談会

PTA広報活動研修会

7月25日(土)に南空知広報紙づくり研修会が文化センター音楽室で開催され、各校PTAの広報担当者ら約百人が参加しました。

講師に元北海道新聞社紙面審査委員の村松良彦氏を迎え、「PTA広報紙づくりのポイントを学ぶ」と題して講習が行われました。村松氏から、PTA活動における広報紙の役割は重要であることや、日常のPTA活動の様子を広くわかりやすく知らせることが大切であることなどが話されました。参加者は、よりよい広報紙づくりに生かそうと、熱心に耳を傾けていました。



(広報紙研修会)

「読まれる広報紙」 ワンランクアップの誌面の作り方

- 子ども・家庭・学校に関わる新たなテーマに挑戦しマンネリから脱する。
- 読者(保護者・子ども)が知りたいという願いに応える。
- 写真やグラフ、イラスト、表、囲み記事などで視覚的なレイアウトにする。
- 記事はわかりやすく簡潔に書く。読者にインパクトを与える見出しを工夫する。

〈問い合わせ先〉

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局長 石丸 由美子

(南小学校 教頭)

TEL 22局2618 FAX 24局7262



体協では各団体と協力して、体育の日記念をはじめとした各種大会や講習会などを開催し、優秀なスポーツ選手の表彰やスポーツ施設の整備・充実に向けた提案を行政に行うなど、さまざまな事業を展開しております。

また、毎年「スポーツ振興チャリティーパーティ」を開催し、スポーツ振興基金に寄付したり、北海道教育大学岩見沢校と連携し、「スポーツ指導

笑顔のために

岩見沢市体育協会

「体協」という愛称で、市民一人ひとりが心身とも健康で、活力にあふれた豊かな生活を営むことができるよう活動を続けている、岩見沢市体育協会（田島溶二会長）は、現在、26団体、八千十五人が加盟しております。

4回 石見沢市総合体育



者講習会」や、加盟団体の自主事業を支援する事業など独自事業にも積極的に取組んで、生涯スポーツの振興や青少年の健全育成に向けた活動を行っております。

平成18年からは、市のスポーツ施設の指定管理者として、東山公園陸上競技やテニスコート、弓道場、岡山スポーツフィールドを管理し、平成20年度実績では、年間五万七千人を越えるお客様のご利用がありました。

それぞれの施設では、「お客様の笑顔のために」をモットーに、職員一丸となつて管理運営に取り組み、屋根や外壁の再塗装をはじめとした施設改修や環境整備、備品の整備・改修など、利用者の声を聴きながら、出来る事から改善に努め、多くの市民の皆様から信頼を得られるよう管理運営に努力しております。

古典を楽しむ

岩見沢観世流能楽会

市内には3つの能楽サークルがあります。観世流では月2回東京から能楽師を招いて講習会をしています。

能楽とは室町時代に生まれた、古典芸能です。今は世界文化遺産に指定されています。

分かります。例えば、お面をつけたオペラとも言えます。ドラマは神の力を表したものの、人間の深い心の世界を表現したものです。手のひらで喜びや悲しみを表わしたり、扇のかざし方で宇宙までも表現します。

台詞は中世の言葉で初めは少し戸惑いますが、少し辛抱すればその魅力に



取りつかれてしまいます。

謡や仕舞は能の一部分ですからお面は付けません。

上演される曲目は二百数十曲ありますが、新曲もどんどん作られています。曲目によってはクライマックス（終曲）の部分がおけストラで演奏される「幻想曲」と極めて似ているのは驚きです。

会員の発表は市民の文化祭や月1回の例会です。年に1度国立能楽堂や、観世能楽堂でも発表しています。

外国からの留学生の中には、大変興味をもって演奏を楽しむサークルが近郊にもあります。

指導室から

「準備には三つあります。一つ目は『体の準備』、二つ目は『道具の準備』、三つ目は、今日頑張るぞという『心の準備』です。」

（「小中学生初級スキー教室」開講式における教育長挨拶より）

「俺、勉強できないべや。ちゃんとしろよー」

6年生の授業中、ある子の声が教室に響いた。忘れ物が続いた隣席の子に対しての言葉である。声を発した子はとても面倒見がよく、いつも何かと隣席の子を助けていた。しかし、その隣席の子が3日続けて教科書を忘れたため、さすがにしびれを切らしたのである。

忘れ物をしたからといって授業を受けさせないようにする教師はいない。「隣の人にお願ひして見せてもらいなさい。」とすることがほとんどであろう。しかし、お願いされた子にとっては、少なからず不便が強いられるのも事実である。

忘れ物を無くするためにはどうしたらよいのか？保護者からよく尋ねられる。保護者や教師の働きかけによって、もなかなか改善できない子もいる。何かのきっかけで、（本人の自覚が芽生

えたときに）ピタッと改善されることもある。この忘れ物をした子にとっては、友人の言葉がきっかけであった。事実、翌日から忘れ物がまったく無くなったのであるから…。

「体の準備」と「道具の準備」は、他者の手を借りても行うことができませす。しかし、「心」はそうはいきません。自分自身で決めなくてはならないのです。私たち保護者は、我が子が「やるぞ」「頑張るぞ」という『心の準備』がしっかりとできるように育てていきたいものです。

家でできる 簡単給食ししぴ♪ 「ポパイサラダ」 (12月の給食より)

※材料（4人分）※

無添加ベーコン ……48 g

にんじん ……40 g

ほうれん草 ……1/2 束

【ドレッシング】

しょうゆ ……大さじ 1 杯

三温糖 ……小さじ 1 杯

白いりごま ……小さじ 1 杯

米酢 ……小さじ 1 杯

米ぬか油 ……小さじ 2 杯

- ① ベーコンを 1cm 幅のスライスにする。フライパンで空炒りをして、荒熱をとっておく。
- ② ほうれん草は、ひと口大に切って、塩を入れて茹でる。茹でた後、水でしっかり冷やして絞る。
- ③ 人参は千切りにし、さっと茹でて、水で冷やしてザルで水を切っておく。
- ④ ドレッシングの材料を全て合わせて、よく混ぜておく。
- ⑤ ①②③を④のドレッシングで和えてできあがり。

ひとくちメモ

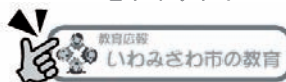
「ポパイ？」ってよく訊かれます。ほうれん草をたくさん食べて欲しいと願ってつくられた献立ですが、ポパイを知っている子ども達がほとんどいなくなりました。学校ではポパイのことを紹介しながら、ほうれん草をたくさん食べてもらっています。もう一つの特徴は、無添加ベーコンです。給食では、原材料の豚にこだわり、添加物を一切使っていないベーコンやハムを使っています。ほうれん草が苦手な子どもでも、おいしいベーコンと一緒に食べられるサラダです。ぜひご家庭でもお試しください。



これは、給食で使っているミキサーです。ドレッシングは、このミキサーを使って作ります。

教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
教委HPのトップページにある、このロゴをクリックしてご覧下さい。

ここをクリック！



＝ご意見・ご要望をおよせください＝
＜担当＞

岩見沢市教育委員会企画総務課情報企画係
〒068-8686

岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111（内線 416）

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp



『子どもが輝く岩見沢』
がんばりの軌跡2009
写真展を開催します

文化・スポーツ活動において、優秀な成績を収めた児童・生徒や、教育の振興に顕著な実績を収めた方々の写真展を開催いたします。

お時間のある方は、是非会場に足を運んで、岩見沢の頑張っている子ども達の姿をご覧になってみてください。

◎展示対象◎

平成21年度岩見沢市教育実践奨励賞
・児童生徒優秀賞受賞者

【問い合わせ先】
教育委員会企画総務課総務係
電話 234111
（内線382）

第1部

会場：市役所1階ロビー他
日時：2月23日（火）～3月1日（月）
午前9時～午後7時

第2部

会場：有明交流プラザセンターホール
（JR岩見沢駅直結）
日時：3月9日（火）～3月15日（月）
午前9時～午後9時